



## 自由経済システムと自由という経済の挑戦

令和6年7月6日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

自由というルールは経済がその自由とともに世界と未来の創造を行うのである。これは留意して判断求める時、統制という現実に対して自由は常に挑戦を行ったのである。

これが自由主義という若者の渴望なのである。自由というものの強さは、すべての現実に対してその革命とともに挑戦するのである。

20世紀がアメリカの起こした世界革命であるならば、今日アメリカはその夢の実現を行なっているのである。

GAFAMが夢から始まったことは真実なのである。彼らは今日世界を有するのである。

既存現実への挑戦は未来の創造であることの証明である。

これら自由という正義は、その進歩性においてその真実を有すると考える。これらは若者と挑戦者はこれら現実に対する参加を渴望するのである。

経済がこれらルールを有することは留意すべきである。それらにおける経済活動は、今日未来という新たな目標を有するのである。

自由と創造は、既存現実の崩壊を与えるものである。それらは社会の進歩であり、新しい未来の現実化なのである。

これは企業において否定できない現実である。変化というスピードは今日、遥かに想像に勝るものなのである。

これらは世界先端性における企業の構築が早急に要求される。これらは企業経営基準の転換と新しい理解を要求するのである。

変化を制するものは、変化を行うものである。また理解は頂に至る。これらは努力という現実が結果に至ることである。